

2023 年 11 月 7 日

リクルート、セクシュアルマイノリティに関する取り組み指標 「PRIDE 指標」で最高評価のゴールドを 6 年連続取得

株式会社リクルート(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート)は、任意団体 work with Pride(ワーク・ウィズ・プライド、以下「wwP」)が策定した、企業や団体の LGBTQ+ などのセクシュアルマイノリティに関する取り組みを評価する指標「PRIDE 指標」において、最高評価であるゴールドを取得しました。ゴールドの取得は 6 年連続です。

■ PRIDE 指標について

PRIDE 指標は、LGBTQ+が働きやすい職場づくりを日本で実現するため、wwP が 2016 年に策定した、企業・団体等の取り組みの評価指標です。

Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)の 5 つの指標で構成され、企業・団体の採点・審査結果により、ゴールド、シルバー、ブロンズ、レインボーとして認定されます。

リクルートは、「PRIDE 指標 2023」において、最高評価のゴールドを取得しました。ゴールドの取得は 6 年連続です。



work with Pride について

work with Pride (wwP) は、企業などの団体における LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体です。 <https://workwithpride.jp/>

■ リクルートの取り組み

リクルートは、1960 年の創業以来、「個の尊重」を重要な価値観と位置付け、多様な従業員一人ひとりの違いを大切にしてきました。リクルートにとって、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンの推進は「個の尊重」の体現そのものです。

セクシュアルマイノリティへの理解促進と尊重、働きやすい環境づくりについては、リクルートグループ人権方針において「SOGI(性的指向・性自認)*を理由とした差別や人権侵害」を行わないように努めることを明記し、誰もが自分らしく働くことができる職場づくりを進めています。配偶者やその家族に適用される制度(休暇、両立支援策等)は、SOGI にかかわらず、自治体などによるパートナーシップ証明がなくても適用をしています。また、SOGI やセクシュアルマイノリティに関する理解を深めるために、国内リクルートグループ従業員を対象とした e ラーニングの配信を、2019 年から毎年行っています。2023 年度には、対象者の約 90%にあたる 2.4 万人が受講し、受講後の理解度は約 100%となっています。

2023年 11月 7日

また、2023年6月には、日本国内における婚姻の平等に賛同する企業を募るキャンペーン「[Business for Marriage Equality](#)」への賛同を表明しました。

今後も、セクシュアルマイノリティをはじめとする全ての「個」が尊重される環境づくりに取り組みます。

* SOGI：性的指向（sexual orientation、恋愛または性愛の対象となる性）と性自認（gender identity、自己の性別についての認識）の頭文字をとった略称

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ： <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート： <https://www.recruit.co.jp>